

2010年5月14日

## 2009年度総括と2010年度事業計画について



### 1. 中期経営計画「新日空 Target Plan 2010」(2008年度～2010年度)について

当社は、2008年度(2009年3月期)より、現行事業領域の強化と進化を図る一方で、環境問題に軸足を置いた「環境設備企業」として顧客や社会の要請に応えるとともに、その中で新たな収益源の多様化を目指す「新日空 Target Plan 2010」(TP2010)をスタートさせました。また、定量面では、『受注/完工 1,000億円には拘らないが、ROE 5%には拘る』との利益重視の方針を徹底し、最終 2010年度で、『ROE 5%の達成』という経営課題を掲げました。

この TP 2010 は次の 3 点を基本課題として企業価値の向上を図るものです。

- 現行事業領域の強化
- 収益源の多様化(独自性と総合力発揮)
- 透明性の高い企業活動

### 2. 2009年度総括について

2009年度は、前年に発生したリーマンショックの痕跡を色濃く残したまま、云わば、二番底を迎える危機感を抱きながら、政治経済ともに迷走状態で突入した年となりました。

下期に入ると、11月には「ドバイショック」が起こり、資金提供元であった金融株等を中心に世界株式市場を激震させたことも、記憶に新しい出来事です。

2009年度のスタート時点では、実質民間企業投資や非住宅建築投資の見通しが対08年度比で夫々、 $\Delta 13.7\%$ 、 $\Delta 13.4\%$ の減少と予想されており、製造業を中心とする当社の産業分野や一般空調分野ではこの厳しい市場環境を見込まざるを得ない状況や、既に「ドバイショック」の前兆でもあったリーマンショック以降の欧州金融危機の影響を受けた中東地域での投資抑制や計画中断等の動きが見られた海外市場でもカントリーリスクや信用不安等からリスク回避をせざるを得ない状況でした。一方で、「環境設備企業」としての変革を更に押し進め、省エネ・環境保全に貢献しうる分野として、リニューアル分野の受注比率を65%の高レベルに維持し、当社の得意分野である原子力発電所耐震強化やプラント長寿命化等のニーズを織り込んでいくという受注計画を掲げました。

しかしながら、2009 年度の実質民間企業投資は△16.6%、非住宅建築投資は△29.0%の減少見通しとなり、景気回復が期待されながらも実体経済では厳しい環境の 1 年であったと考えます。結果として、当社グループが掲げた受注計画 900 億円は、740 億円強に留まり、対計画比△17.7%となりました。従って、得意分野であるリニューアール空調は、68%の高レベルを維持しながらも、受注量は減少した一方で、同じ得意分野である原子力空調においては、国内プラントの耐震強化対策等が実施されたこともあり、前年度を大きく上回る成果をあげましたが、受注規模として、期首計画比△16.5%の減少に留まったと考えます。

当社グループは、「利益重視の受注方針」徹底を継続しており、その成果としては、受注利益率を前年度に比し、更に向上させることができました。また、原価低減努力や集中購買効果等、現場の更なる改善努力の結果、完工総利益率が前年度より 0.2 ポイントアップの 10.1%に達したことは、周知徹底の表れであると考えます。

〈 前年度比 〉

- 2009 年度受注利益率 0.6 ポイントアップ
- 2009 年度単年度受注利益率 2.1 ポイントアップ
- 2009 年度完工総利益率 0.2 ポイントアップ

しかしながら、未曾有の不景気環境の中での受注量の減少に伴う、完工高の減少により、完工総利益率は向上したものの、完工総利益額では対前年比△9 億 4 千 7 百万円となり、業務効率の向上や経費削減等による販売管理費の削減努力も及ばず、営業利益、経常利益共に前年度を下回る結果となりました。

## 【 2009 年度 受注実績 】

(単位:百万円)

| 分野区分      |         |        | 2008 年度 | 2009 年度   |        |        |         |
|-----------|---------|--------|---------|-----------|--------|--------|---------|
|           |         |        | 実績      | 期首<br>公表値 | 実績     | 対期首比   | 対前年比    |
| 個別        | 国内      | 新築     | 28,851  | 25,000    | 20,966 | △16.1% | △27.3%  |
|           |         | リニューアル | 46,174  | 47,000    | 35,402 | △24.7% | △23.3%  |
|           | 原子力     |        | 8,539   | 10,000    | 11,619 | +16.2% | +36.1%  |
|           | 海外      |        | 756     | 3,000     | 2,058  | △31.4% | +172.2% |
| 連結<br>子会社 | 新日空サービス |        | 5,326   | 5,000     | 4,038  | △19.2% | △24.2%  |
|           | 上海現地法人  |        |         |           |        |        |         |
| 連結受注高     |         |        | 89,646  | 90,000    | 74,083 | △17.7% | △17.4%  |

## 【 参考 】

|             |        |        |        |        |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| リニューアル分野    | 58,600 | 58,500 | 50,655 | △13.4% |
|             | 65.4%  | 65.0%  | 68.4%  | +3.4%  |
| 産業分野(原子力除く) | 25,082 | 20,000 | 13,453 | △32.7% |
|             | 28.0%  | 22.2%  | 18.2%  | △4.0%  |
| 産業分野(原子力含む) | 33,541 | 30,000 | 25,050 | △16.5% |
|             | 37.4%  | 33.3%  | 33.8%  | +0.5%  |

## 【 2009 年度 損益実績 】

(単位:百万円)

| 勘定科目<br>下段は% | 2008 年度 | 2009 年度   |        |        |        |
|--------------|---------|-----------|--------|--------|--------|
|              | 実績      | 期首<br>公表値 | 実績     | 対期首比   | 対前年比   |
| 連結完工高        | 92,864  | 90,000    | 81,376 | △9.6%  | △12.4% |
| 連結完工総利       | 9,171   | 9,000     | 8,223  | △8.6%  | △10.3% |
|              | 9.9%    | 10.0%     | 10.1%  | +0.1%  | +0.2%  |
| 販管固定費        | 6,601   | 7,000     | 6,561  | △6.3%  | △0.6%  |
|              | 7.1%    | 7.7%      | 8.1%   | +0.3%  | +1.0%  |
| 営業利益         | 2,570   | 2,000     | 1,661  | △17.0% | △35.4% |
|              | 2.7%    | 2.2%      | 2.0%   | △0.2%  | △0.7%  |
| 経常利益         | 2,550   | 2,000     | 1,913  | △4.3%  | △25.0% |
|              | 2.7%    | 2.2%      | 2.4%   | +0.2%  | △0.3%  |
| 当期利益         | △368    | 1,000     | 815    |        |        |
|              | △0.3%   | 1.1%      | 1.0%   | △0.1%  | +1.3%  |

### 3. 2010 年度事業計画について

#### 1) 当社を取り巻く環境

実質民間企業投資は、2010 年度には+1.3%という見通しですが、当社のターゲットとする（その中の機械、民間住宅、政府投資ならびに民間土木投資を除いた）名目民間非住宅建築投資に目を向けると、前述の 2009 年度の△29.0%に加え、2010 年度は、△6.5%と一層の落ち込みが見込まれています。（出展：(財)建設経済研究所資料）

しかしながら、当社営業活動による情報量や製造業のお客様からの引き合いも 08 年度規模に回復してきていることや、官民挙げての「経済危機対策」の早期実現等により、2010 年度には上方回復する方向で事業運営していく方針であり、将来の低炭素化・循環型社会の実現に貢献すべく、空気・水・熱に関する技術の研究と開発を通じて、地球環境に配慮した、「環境設備企業」としての変革を進めていく所存です。

#### 2) 2010 年度事業計画

TP2010 の最終年度にあたる 2010 年度は、前述の通り、景気回復への期待感を持ちながら迎えることになりましたが、「環境設備企業」としての変革を押し進め、省エネ・環境保全に貢献しうる分野への経営資源傾斜配分を加速することと致します。

従って、当社の永続的成長に向けた受注方針として、2009 年度に掲げた受注計画 900 億円の再チャレンジを掲げます。リニューアル分野の比率を約 65%の高レベルに維持しつつ、一般、産業施設の新規投資案件に対応した営業展開を積極的に行い、国内一般で 730 億円（対前年度実績比+30%増）を目指します。

一方で、原子力分野におきましては、国内原子力発電所における耐震強化対応や長寿命化対策等を継続的に行うと共に、海外建設需要に対する技術協力を行っていきます。

海外分野と海外現地法人や空調工事の保守メンテを主な事業とする新日空サービスはほぼ昨年度と同様の計画で臨みます。

この結果、2010 年度の損益計画は、完工高 850 億円、営業利益、経常利益ともに 2,000 百万円、当期利益は 1,000 百万円となりました。

## 【 2010 年度 受注計画 】

(単位:百万円)

| 分野区分      |         |        | 2010 年度      |        |
|-----------|---------|--------|--------------|--------|
|           |         |        | TP 前回<br>計画値 | 計画     |
| 個別        | 国内      | 新築     | 26,000       | 30,000 |
|           | 一般      | リニューアル | 50,000       | 43,000 |
|           | 原子力     |        | 12,000       | 11,000 |
|           | 海外      |        | 4,000        | 2,000  |
| 連結<br>子会社 | 新日空サービス |        | 5,000        | 4,000  |
|           | 上海現地法人  |        |              |        |
| 連結受注高     |         |        | 97,000       | 90,000 |

## 【 参考 】

|             |        |        |
|-------------|--------|--------|
| リニューアル分野    | 63,000 | 58,500 |
|             | 64.9%  | 65.0%  |
| 産業分野(原子力除く) | 25,000 | 23,000 |
|             | 25.8%  | 25.6%  |
| 産業分野(原子力含む) | 37,000 | 34,000 |
|             | 38.1%  | 36.0%  |

## 【 2010 年度 損益計画 】

(単位:百万円)

| 勘定科目<br>下段は% | 2010 年度      |        |
|--------------|--------------|--------|
|              | TP 前回<br>計画値 | 計画     |
| 連結完工高        | 97,000       | 85,000 |
| 連結完工総利       | 10,000       | 8,500  |
|              | 10.3%        | 10.0%  |
| 販管固定費        | 7,000        | 6,500  |
|              | 7.2%         | 7.6%   |
| 営業利益         | 3,000        | 2,000  |
|              | 3.0%         | 2.4%   |
| 経常利益         | 3,000        | 2,000  |
|              | 3.0%         | 2.4%   |
| 当期利益         | 1,500        | 1,000  |
|              | 1.5%         | 1.2%   |

#### 4. 2010 年度事業計画達成に向けた具体的施策

- ① リニューアル分野の更なる強化・推進
  - ・ 当社実用化技術を駆使した省エネ提案や、改正省エネ法施行に伴う環境保全改修工事の取り込みとその全国展開の推進
  - ・ 電算センターの豊富な施工実績を活かした大型 iDC プロジェクトへの対応等、スマートクラウド戦略に追随した営業展開の強化・推進
  
- ② 産業分野における更なる強化・推進
  - ・ 電子デバイスや新型電池等の設備投資への積極対応による当社得意分野での優位性確保
  - ・ 「微粒子可視化システム」の更なる技術開発と事業化展開や「保有独自技術群との融合」による新しい事業領域 100 億円規模の継続展開
  - ・ 医薬品、食品等の成長業種への取組拡大
  
- ③ 原子力分野の更なる展開
  - ・ 耐震強化対策やプラント長寿命化等のニーズに対応した保有技術の積極展開による国内市場での継続事業展開
  - ・ 海外原子力プラントにおける設計支援業務、工事計画業務への積極的参画
  
- ④ 海外分野におけるリスク対応、選別受注の徹底と将来への取り組み
  - ・ 得意地域、優位案件への絞込みと、マネージメント力の更なる強化
  - ・ スリランカ現地法人での業務一貫体制の構築と、当社省エネ関連提案技術力を活かした受注体制の確立とインフラ環境整備事業への展開

-以 上-